



ダッシュボードからのクラスタパフォーマンス の監視

Active IQ Unified Manager 9.8

NetApp
January 31, 2025

目次

| | |
|-------------------------------|---|
| ダッシュボードからのクラスタパフォーマンスの監視..... | 1 |
| ダッシュボードのパフォーマンスパネルについて | 1 |
| パフォーマンスのバナーメッセージと説明..... | 2 |
| パフォーマンス統計データの収集間隔を変更する | 2 |

ダッシュボードからのクラスタパフォーマンスの監視

Unified Manager のダッシュボードには、Unified Manager の現在のインスタンスで監視しているすべてのクラスタのパフォーマンスステータスの概要が、いくつかのパネルに分けて表示されます。管理対象クラスタの全体的なパフォーマンスを評価し、特定のイベントをすばやく把握して特定し、解決策を適用することができます。

ダッシュボードのパフォーマンスパネルについて

Unified Manager のダッシュボードには、環境内の監視対象のすべてのクラスタのパフォーマンスステータスの概要が、複数のパネルに分けて表示されます。すべてのクラスタまたは個々のクラスタのステータスを表示できます。

次の図は、Unified Managerのダッシュボードですべてのクラスタが表示されている例を示しています。

ほとんどのパネルには、パフォーマンス情報に加えて、そのカテゴリのアクティブイベントの数および過去 24 時間に追加された新しいイベントの数が表示されます。この情報から、報告されたイベントを解決するために詳細な分析が必要なクラスタを決定できます。イベントをクリックすると、上位数件のイベントが表示され、そのカテゴリのイベントをフィルタリングして表示するイベント管理インベントリページへのリンクが表示されます。

次のパネルにはパフォーマンスステータスが表示されます。

- * パフォーマンス容量パネル *

すべてのクラスタを表示している場合、このパネルには、各クラスタのパフォーマンス容量（過去 1 時間の平均）とパフォーマンス容量が上限に達するまでの日数（日次増加率に基づく）が表示されます。棒グラフをクリックすると、そのクラスタのノードインベントリページが表示されます。ノードのインベントリページには過去 72 時間のパフォーマンス容量の平均が表示されるため、この値がダッシュボードの値と一致しないことがあります。

単一のクラスタを表示している場合、このパネルには、そのクラスタのパフォーマンス容量、合計 IOPS、合計スループットが表示されます。

- * ワークロード IOPS パネル *

ワークロードのアクティブ管理が有効になっていて、単一のクラスタを表示している場合、このパネルには、特定の範囲の IOPS で現在実行されているワークロードの総数が表示されます。

- * ワークロードパフォーマンスパネル *

ワークロードのアクティブ管理が有効になっている場合、このパネルには、定義された各パフォーマンスサービスレベルに割り当てられている準拠ワークロードと非準拠ワークロードの総数が表示されます。棒グラフをクリックすると、そのポリシーに割り当てられているワークロードがワークロードページに表示されます。

- * 使用状況の概要パネル *

すべてのクラスタを表示している場合、IOPS またはスループット（MBps）が高い順にクラスタを表示できます。

単一のクラスタを表示している場合は、そのクラスタのワークロードを IOPS またはスループット（MBps）が高い順に表示できます。

パフォーマンスのバナーメッセージと説明

Unified Manager の通知ページ（通知ベルから）にバナーメッセージが表示されて、特定のクラスタのステータスの問題を通知することができます。

| バナーメッセージ | 説明 | 解決策： |
|---|--|---|
| No performance data is being collected from cluster <code>cluster_name</code> . Restart Unified Manager to correct this issue. | Unified Manager の収集サービスが停止しており、どのクラスタからもパフォーマンスデータが収集されていません。 | この問題を解決するには、Unified Manager を再起動します。それでも問題が修正されない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。 |
| More than <code>x</code> hour(s) of historical data is being collected from cluster <code>cluster_name</code> . Current data collections will start after all historical data is collected. | リアルタイムのクラスタパフォーマンス収集サイクル以外に、データの継続性収集サイクルによるパフォーマンスデータの収集が実行中です。 | 対処は不要です。現在のパフォーマンスデータは、データの継続性収集サイクルの完了後に収集されます。 データの継続性収集サイクルが実行されるのは、新しいクラスタが追加されたときや、Unified Manager が何らかの理由で現在のパフォーマンスデータを収集できなくなったときです。 |

パフォーマンス統計データの収集間隔を変更する

パフォーマンス統計のデフォルトの収集間隔は 5 分です。大規模なクラスタからの収集がデフォルトの時間内に完了しない場合は、この間隔を 10 分または 15 分に変更できます。この設定は、この Unified Manager インスタンスで監視しているすべてのクラスタからの統計の収集に適用されます。

作業を開始する前に

Unified Manager サーバのメンテナンスコンソールへのログインが許可されているユーザ ID とパスワードが必要です。

このタスクについて

パフォーマンス統計の収集が時間内に完了しなかった問題は、バナーメッセージで示されます `Unable to consistently collect from cluster <cluster_name>` または `Data collection is taking too long on cluster <cluster_name>`。

収集間隔の変更が必要になるのは、統計の収集が問題のためです。その他の理由でこの設定を変更しないでください。



この値をデフォルト設定の 5 分から変更すると、Unified Manager でレポートされるパフォーマンスイベントの数や頻度に影響する可能性があります。たとえば、システム定義のパフォーマンスしきい値ポリシーでは、ポリシーを超えた状態が 30 分続くとイベントがトリガーされます。収集間隔が 5 分の場合は、収集間隔が 6 回連続でポリシーの違反となるようにする必要があります。一方、収集間隔が 15 分の場合は、2 回の収集期間のみでポリシーの違反と判断されます。

クラスタセットアップページの下部にあるメッセージは、現在の統計データの収集間隔を示します。

手順

1. SSH を使用して、Unified Manager ホストにメンテナンスユーザとしてログインします。

Unified Manager メンテナンスコンソールのプロンプトが表示されます。

2. 「パフォーマンスポーリング間隔の設定 *」というラベルの付いたメニューオプションの番号を入力し、Enter キーを押します。
3. プロンプトが表示されたら、メンテナンスユーザのパスワードをもう一度入力します。
4. 設定する新しいポーリング間隔の値を入力し、Enter キーを押します。

完了後

外部データプロバイダ（Graphite など）への接続を現在設定してある場合は、Unified Manager の収集間隔を 10 分または 15 分に変更したあと、データプロバイダの送信間隔も Unified Manager の収集間隔以上に変更する必要があります。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。